

22 (令和4) 年度 予算について

問合せ 市役所都市経営課企画担当 (☎31-4502)
市役所財政課 (☎31-4512)

22 (令和4) 年度 予算編成方針について

22 (令和4) 年度予算編成に当たっては、コロナ禍後の社会への対応や地域経済の活性化に向けて、まちづくり基本構想における重点戦略を踏まえ、**3つの政策テーマ**を設け、その実現に資する事業に対して、**予算の重点化**を図ることとしました。

新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響などが引き続き予想される中、ひがし北海道の拠点都市である釧路市の「みらい」に向けて、また、国等の補助金などの積極的な活用により市の実質的な負担の抑制を図りながら、将来に向けた投資を行うことができるよう、**経済活性化や人材育成、子育て**といった分野に重点を置き予算を編成しました。

政策テーマ

- ①アフターコロナの働き方を見据えた環境整備
- ②地域経済を支えるまちづくり
- ③誰もが住みやすさを実感するまちづくり

目指すべきまちづくりの実現に向けて

同時に実現

健全で安定した財政運営と財源の確保

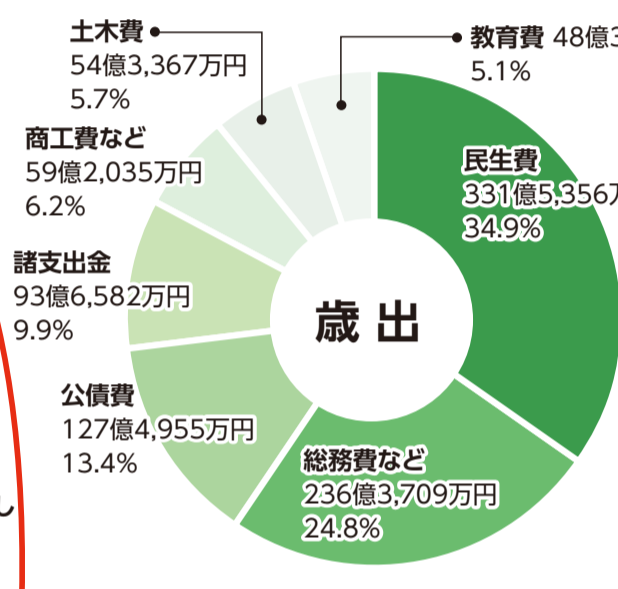
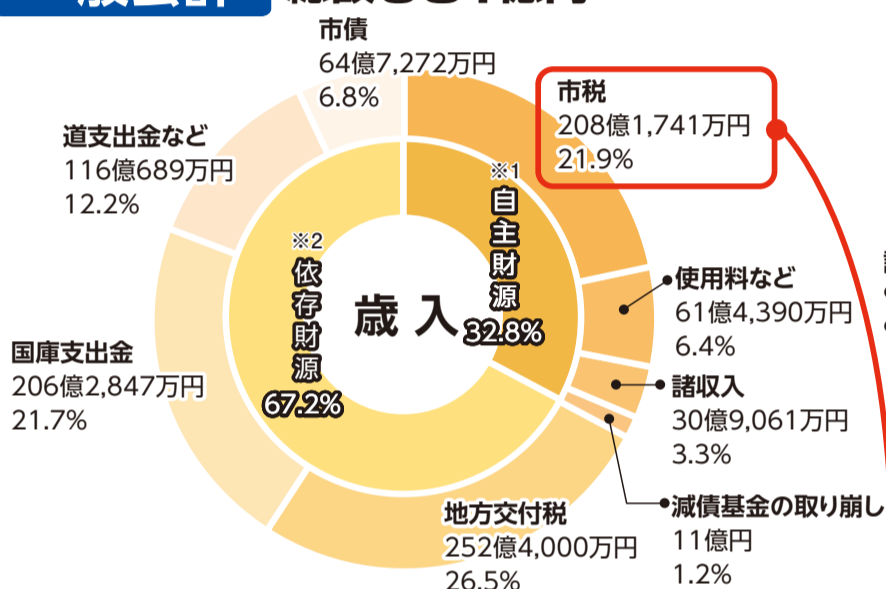
政策テーマごとの主要事業については、次ページで紹介します

一般会計と特別・企業会計の予算について

※お知らせする数値は、項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

一般会計

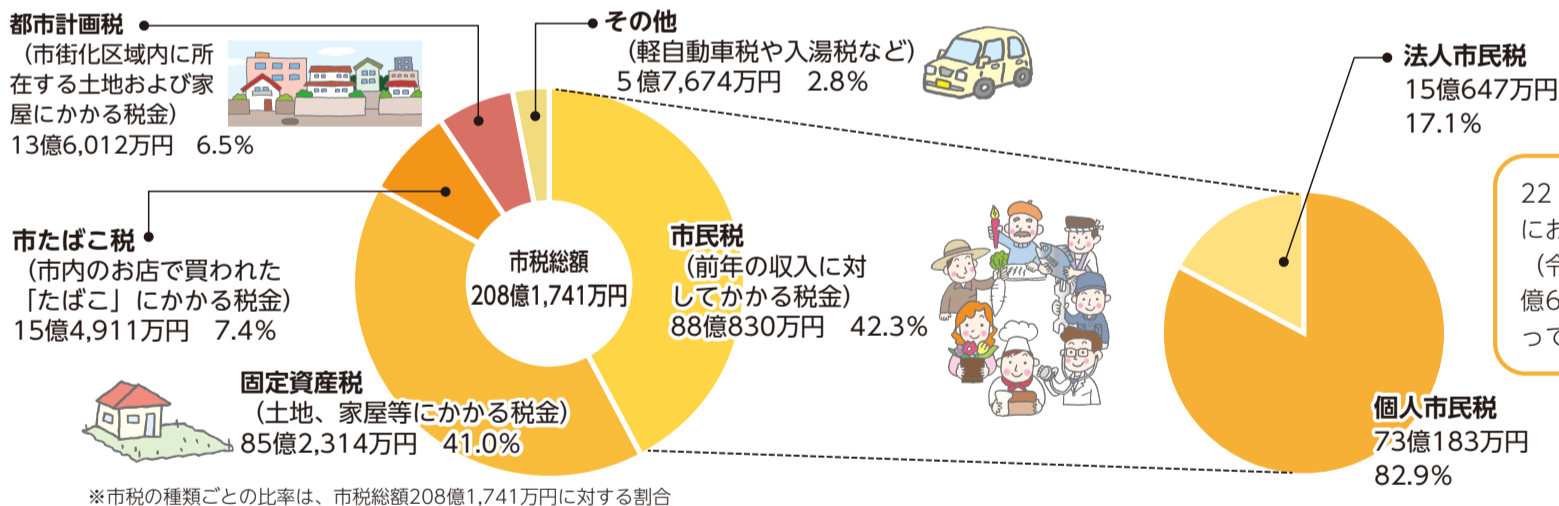
総額951億円 (前年度比12億円減)



22 (令和4) 年度一般会計予算は、総額951億円で21 (令和3) 年度比12億円の減となっています。これは、主に大型公共事業等の減などによるものです。

※1 自主財源：税金や公共施設の使用料など、市が自分で集めるもの。
※2 依存財源：補助金など、国や道から交付されるもの。

市税の種類とその内訳



22 (令和4) 年度予算における市税総額は21 (令和3) 年度比で3億6,206万円の増となっています。

※市税の種類ごとの比率は、市税総額208億1,741万円に対する割合

特別会計

総額386億8,473万円

特別会計とは、特定の事業やサービスを提供するために、利用者から保険料や使用料などをいただき、その財源をもとに事業を運営していくために設けられた会計のことです。市には、下表の8会計があります。

会計名	国民健康保険	国民健康保険阿寒診療所事業	国民健康保険音別診療所事業	後期高齢者医療	介護保険	魚揚場事業	駐車場事業	動物園事業
予算額	170億2,542万円	5億3,271万円	3億6,187万円	26億6,376万円	172億2,986万円 (保険事業勘定) / 9,272万円 (介護サービス事業勘定)	2億289万円	1億3,554万円	4億3,996万円

企業会計

総額456億6,158万円

企業会計とは、自ら事業を行い、そこから得たお金で運営していく、民間企業と同様の経理を行う会計のことです。市には、下表の6会計があります。

会計名	病院事業	水道事業	工業用水道事業	下水道事業	公設地方卸売市場事業	港湾整備事業
予算額	220億4,283万円	108億5,874万円	7,837万円	114億2,128万円	3億4,532万円	9億1,504万円



22 (令和4) 年度 市全体の予算総額 1,794億4,631万円